

平成28年度卒業式及び平成29年度入学式の学長式辞

石 本 勝 見

はじめに

平成28年度の卒業式の式辞では、自分が目指したい理想の保育者像を常に心に抱き、日々子どもたちとのかかわりの中で、子どもと共に学び続けてほしいこと、また、失敗を恐れず失敗から学ぶ姿勢を大事にしてほしいこと等について伝えた。

また平成29年度の入学式では、「加茂朝学校」の精神に触れながら、保育専門職として必要な力、とりわけお互いが気持ちよく生きていくためのマナー、コミュニケーションの力を磨いてほしいことなどを伝えた。

平成28年度卒業式 式辞（原稿）

卒業式を挙げるに当たり、ご多忙のところ加茂市長小池清彦様、元本学学長長塚康弘様はじめ多数のご来賓の皆様から御臨席いただき誠にありがとうございます。

さて、卒業生の皆さん、卒業おめでとう。ここまで、日々の学習に、幼稚園や保育園、そして障害者の施設等での実習に、そしてミュージカルの練習・発表にとよく頑張ってきました。その努力を心から讃えたいと思います。

いよいよ社会人として、社会の中で活躍する 때가来ました。卒業後、一般企業で働く人もいますが、多くの卒業生は地元新潟県内の幼稚園や認定こども園、保育所に就職が決まっています。本学が保育者養成を使命とする短期大学であることから当然のことと思います。

そこで、今から2年前、皆さんが本学に入学した時の入学式で、私は、皆さんに大事な話をしたつもりです。それは、もし幼稚園の先生や保育所の先生を目指すならば、自分はどんな保育者になりたいのか、そのイメージ、いわば自分にとって理想とする保育者のイメージをいつもしっかりと心に描きながら日々の生活をしてもらいたい、という事でした。

人間は、なりたい自分をいつも心に持ち続ける、そのことを大事にして生きること

で、なりたい自分に近づくことができる、とされています。

いかがですか？卒業をむかえるに当たり、自分が目指した、なりたい保育者になれたでしょうか？おそらく自信をもって「はい」と言えられる人はきわめて少ない、と思います。私は、それでいいと思います。私の経験からも、また私の先輩から聞いた話を思い出してみても、人間は学べば学ぶほど、自分が分かったことはほんの少しで、知らないことや自分に至らなさに気づかされるのが常だからです。いま皆さんが幼稚園教諭や保育士の免許、資格を取得するという事は、その領域で専門的な業務を始めていいという、いわば入口切符を手にした、という事です。卒業は終わりではなく、更に学びを深めていくための出発であると思います。大事なことは、自分が目指す、理想とする保育者イメージを忘れず、日々子どもたちに関わり、教え教えられながら日々を生きることです。それはまた、子どもたちの保護者の皆さんと子どもたちの成長を喜び合う事であり、同僚や上司の助言や指導に謙虚に耳を傾け、自分の実践を日々振り返ることであります。

人間は幾つになっても発展途上だと思えます。ここが山頂かと思って見上げれば、その先にまた高い山々がそびえています。一步一步、進むべき道を踏みしめて進む、立ち止まり振り返る、そして気づいたこと、反省点を修正しまた挑戦し、実践していくという、いわばPDCAサイクルで仕事を進めていくという事はどのような職種、業務であれ共通に留意すべきことだと思います。社会は、学校という学びの場とは違い仕事を中心になるわけですから、いつも丁寧に教えてもらうことは期待できません。自らが主体的に課題を見つけ、その解決のために考え実行することが求められています。皆さんがここ新潟中央短期大学で学んだ、身に着けた力を存分に発揮して、失敗を恐れず、失敗から学ぶ姿勢を常に忘れず生きていった欲しいと願っています。そして、日々の仕事で悩んだり、行き詰った時などは、友達に相談することは勿論ですが、どうかここで一緒に学んできた本学の教員、職員にも声をかけてください。私たちは皆さんが卒業しても、いつでも応援しています。

最後になりましたが、保護者の皆様、御家族の皆様、本日はおめでとうございます。本学に対し、皆様のこれまでの御支援に心から感謝申し上げますとともに、これからも温かい御理解を賜りますようお願い申し上げます。

最後の最後ですが、卒業生の皆さんの前途に幸多かれと祈りつつ式辞とします。

平成29年 3月15日

新潟中央短期大学 学長 石 本 勝 見

平成29年度入学式 式辞（原稿）

本日ここに平成二十九年度新潟中央短期大学入学式を挙げるに当たり、加茂市長小池清彦様、田上町長佐藤邦義様、元本学学長長塚康弘様はじめ多数のご来賓の皆様から御臨席をいただき、誠にありがとうございます。

ただいま本学への入学を許可された皆さん、入学おめでとう。こころから歓迎します。

また、ご家族・保護者の皆様、本日は本当におめでとうございます。私ども教職員は、全力で学生を支援し教育に当たる覚悟ですが、保護者の皆様におかれましても、本学への温かい御理解と御支援をよろしくお願い申し上げます。

さて、入学した皆さんが学び学生生活を送るキャンパスは、今年の3月に系列校であります新潟経営大学に隣接して新校舎が完成しました。この新しい、明るく快適なキャンパスで皆さんと一緒に学ぶことができることを嬉しく思っています。

いよいよ大学での学びが始まります。本学は、保育者という専門職を養成する私立の短期大学です。本学の教育の根底にある最も大切な理念は、加茂朝学校の理念と実践に求められる、と思っています。それは、学ぶ意欲・意志のある者は、たとえどんな困難な環境にあったとしても、たとえ苦しいときがあっても初心忘れず、学び続ける勇気をもって、人間としての成長を目指し、学びの成果を次に活かすと同時に、さらに工夫し学び・実践し続ける哲学であり生き方であり、不断に自己を磨き続ける、という精神、願いである、と思っています。

もう一つ、皆さんにお話ししたいことがあります。ご承知の通り、本学は保育者養成をその目的にしていますことから、認定こども園や幼稚園、保育所等で保育者として必要な知識・技術、思考力、表現力、さらには他者と協働して生きていく力をしっかりと日々の授業や学生生活、様々な教育活動や実習などを通じて、身につけて欲しいと願っています。それと同時に、保育者という専門性を支える土台として、人としてのあり方、社会で、所属するコミュニティーで、他の人々と共に生きていくためのマナー、お互いが気持ちよく生きていくための対応のあり方、コミュニケーション、ソーシャルスキル等、これまで皆さんが既に身につけてきた力、スキルをさらに磨き、高めていただきたい、と思います。

皆さんの夢が「よい保育者になること」であれば、どうかその理想の保育者イメージを常に心に持ち続けて日々学んでほしいと思います。皆さんの夢の実現、可能性の開花のために、本学の教職員全員でしっかりと応援してまいります。

この新潟中央短期大学で、人生で最も輝き、最も実りの多い青春の時を仲間と共に、

また本学の教職員と共に、共に学び、共になりたい自分に向かって、一步一步進んでいきましょう。

以上、学長としての式辞とします。

平成29年4月3日

新潟中央短期大学 学長 石 本 勝 見